

大学研究室訪問

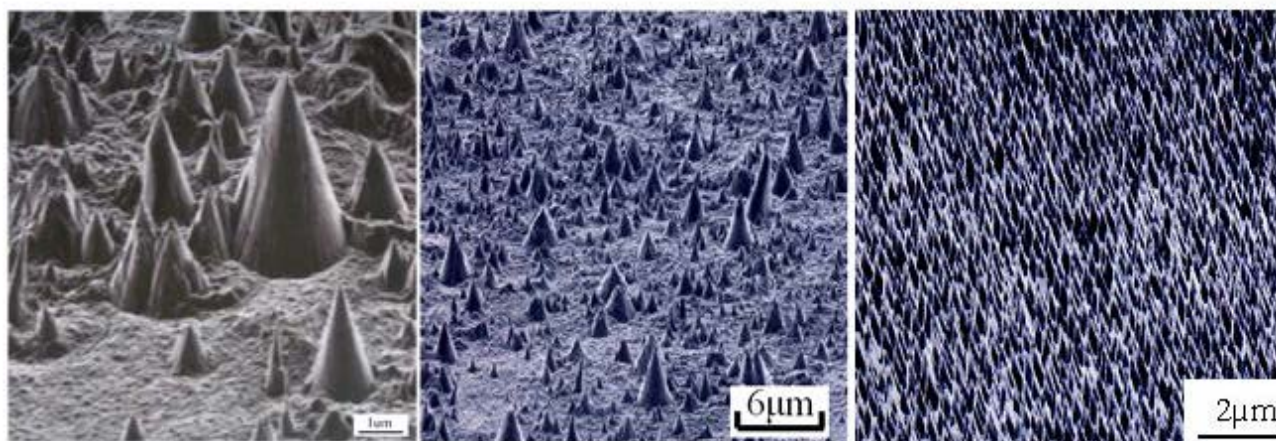
財団法人ひろしま産業振興機構
東広島市産学官連携推進協議会

目的	大学の研究内容を新産業に結びつける可能性を発掘するため、研究室を訪問し、意見交換を行う。
開催日時	平成20年10月14日(火) 13:30~15:30
開催場所	広島大学大学院 工学研究科 (〒739-8527 東広島市鏡山一丁目4番1号)
訪問研究室	加藤 昌彦准教授
専門分野	材料強度学
研究内容	

スパッタエッチングによる超微細突起物に関する研究

スパッタエッチングと呼ばれる真空プロセスを利用して、金属表面に高さが数 μm から1 μm を下回る大きさの円錐状突起を多数作成することに成功しました。下に作成した突起の例を紹介します。先端が鋭い突起が形成されています。現状では大きさを精度よくコントロールすることは難しいですが、比較的安価に作成可能な点にメリットがあります。

今回、この研究内容を紹介し、意見交換を行いたいと考えています。



スパッタエッチングにより形成させた微細突起物の例

《特徴・想定される用途等》

紙・布などの接触搬送装置・ロール表面, 触媒, 触媒担体, コールドエミッター, 薄膜コーティング用下地などへの応用が期待できます。